

中学生用 ライフプランニング学習副読本「考えようふるさと秋田とわたしの未来」 活用状況調査集計結果（令和6年度）

調査対象：県内中学校 102校（国立大学法人立：1校、県立：3校、市町村立：98校）
県内義務教育学校・後期課程 3校（市町立：3校） ※分校を含む。

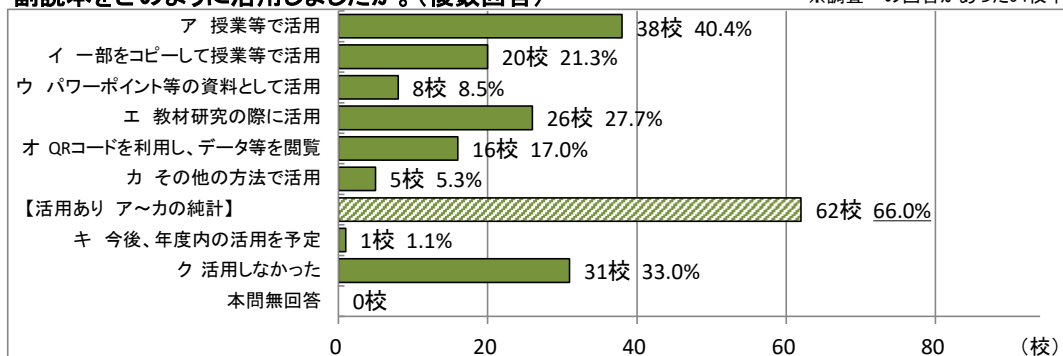
※義務教育学校については、便宜上、おおむね後期課程における中学生用副読本の活用状況をこの票に、おおむね前期課程における小学生用副読本の活用状況を小学生用の集計結果の票に合算して集計しています。
そのため、義務教育学校3校分が小学生用・中学生用の集計結果にそれぞれ計上されています。

◎回答率 89.5%（回答94校／対象105校）

◎活用率 66.0%（活用62校／回答94校）（ほか年度内活用予定1校）

問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※調査への回答があった94校中



活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答（類似の回答を統合し、主旨を簡略表記している。以下同じ。）

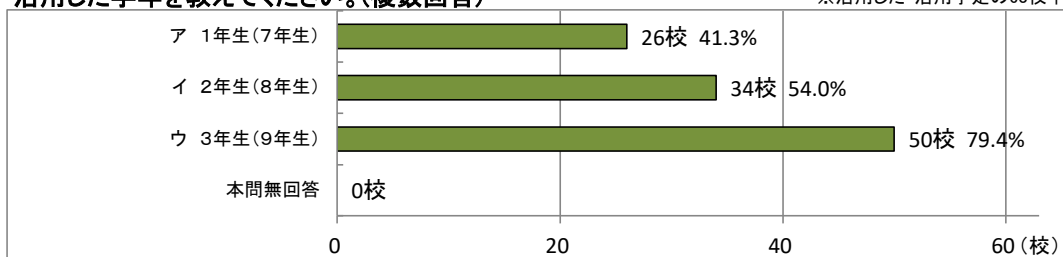
- ・同趣旨の資料を作成する参考とした。
- ・キャリア教育・授業計画の参考資料とした。
- ・配付し、読書の時間、学活の時間に読ませた。

活用状況「ク 活用しなかった」の主な理由

- ・同趣旨の教材、資料集、キャリアノート、冊子等の既存資料で十分対応できている。
- ・活用する時間、場面、機会がなかった。年間指導計画に組み込んでいない。
- ・学級活動や総合的な学習の時間と副読本の内容の関連付けができなかった。
- ・学校への配付時期の関係で適切な引き継ぎができない。副読本が手元にない。
- ・参考資料として配付のみとした。

問2 活用した学年を教えてください。（複数回答）

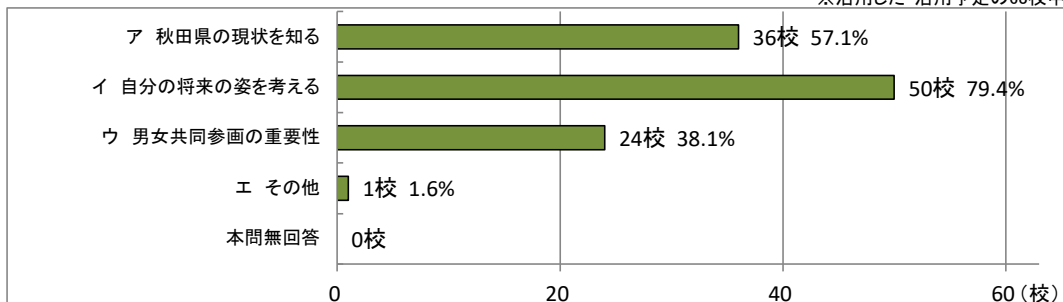
※活用した・活用予定の63校中



※()内は、義務教育学校における学年

問3 副読本を活用した際の学びのねらいは、次のどの分野ですか。（複数回答）

※活用した・活用予定の63校中



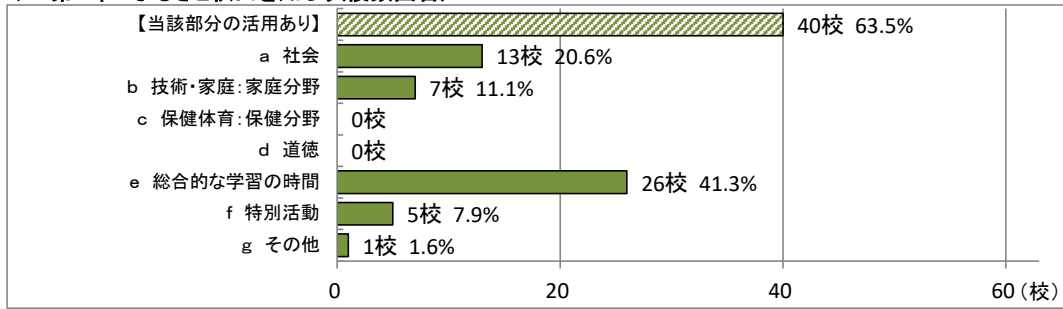
学びのねらいの分野「エ その他」の主な回答

- ・ESD教育（総合的な学習の時間）

問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。

ア 第1章 ふるさと秋田を知ろう(複数回答)

※活用した・活用予定の63校中

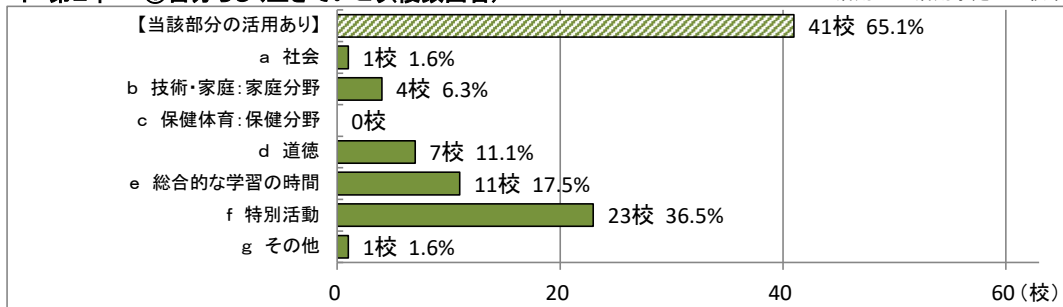


活用場面「g その他」の主な回答

・朝読書（以下問4イ～エ及びカにおいて同じ。）

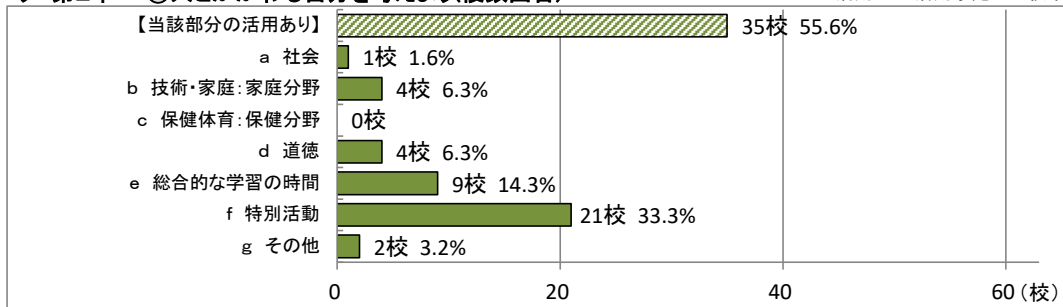
イ 第2章 ①自分らしく生きていこう(複数回答)

※活用した・活用予定の63校中



ウ 第2章 ②人とかかわる自分を考えよう(複数回答)

※活用した・活用予定の63校中

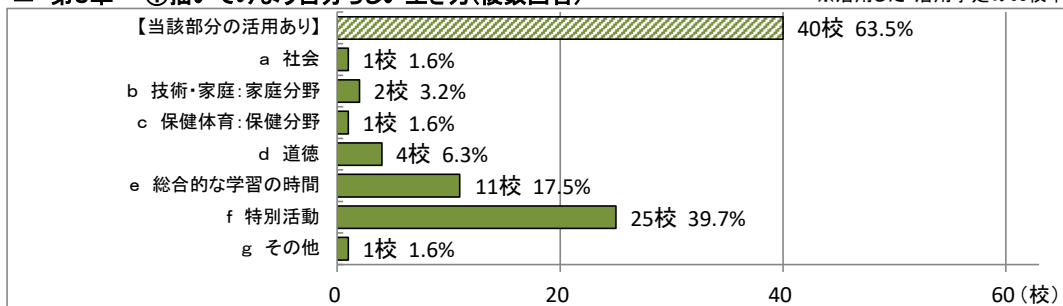


活用場面「g その他」の主な回答

・キャリア教育

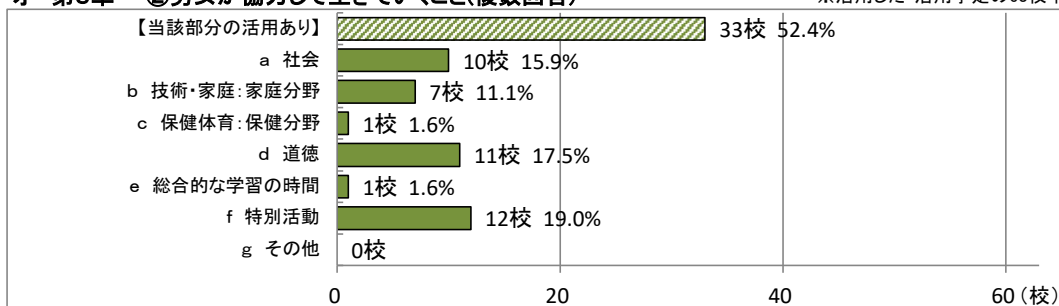
エ 第3章 ①描いてみよう自分らしい生き方(複数回答)

※活用した・活用予定の63校中



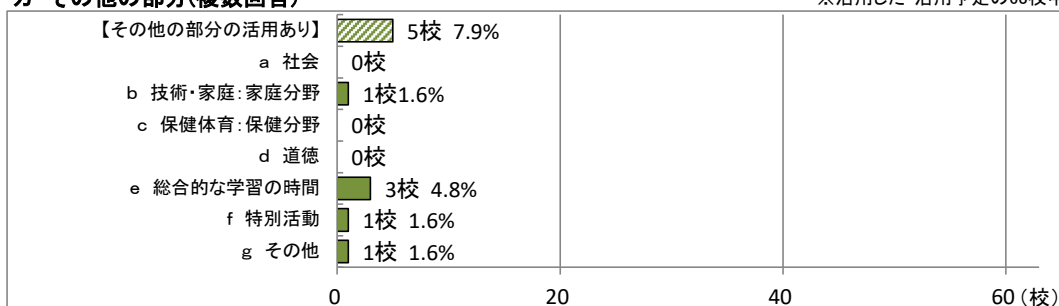
オ 第3章 ②男女が協力して生きていくこと(複数回答)

※活用した・活用予定の63校中



カ その他の部分(複数回答)

※活用した・活用予定の63校中

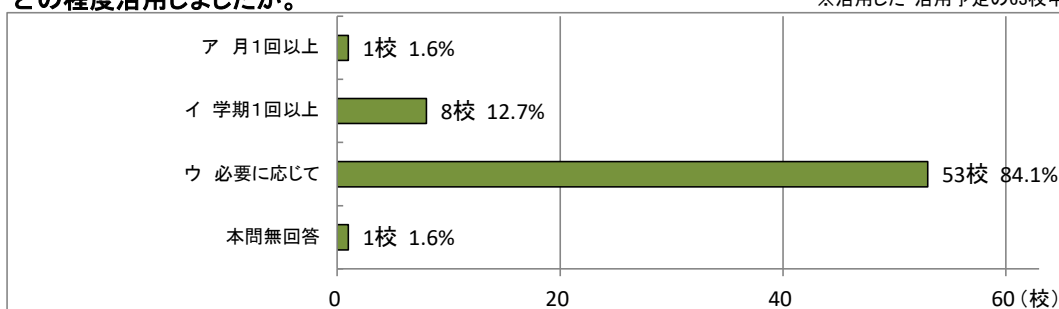


活用した「その他の部分」名の回答なし。

活用場面「f その他」の回答なし。

問5 どの程度活用しましたか。

※活用した・活用予定の63校中



「ア 月1回以上」の活用頻度

※「ア 月1回以上」の回答1校中

一月当たり2回程度	1校
-----------	----

「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答8校中

活用頻度	2学期制の学校	3学期制の学校
一学期当たり1回程度	3校	4校
一学期当たり3回程度・それ以上	1校	0校

「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答50校中(回数無回答3校を除外)

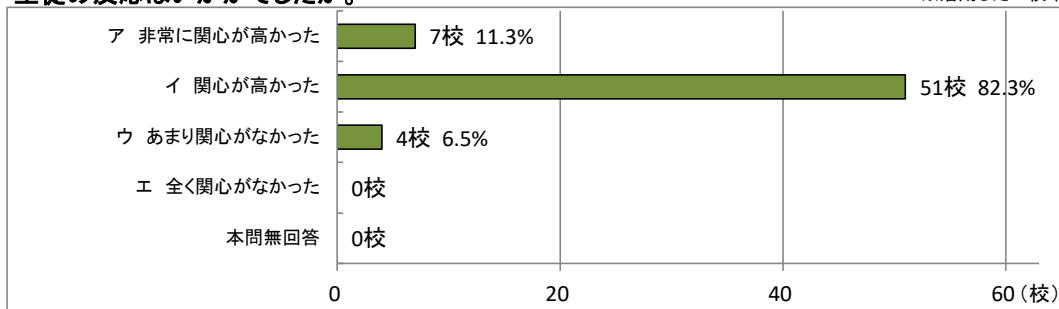
活用頻度	
年間1回程度	13校
年間2回程度	16校
年間3回程度	13校
年間4回程度	3校
年間5回程度・それ以上	5校

「ウ 必要に応じて」活用した学校での活用機会等についての主な回答

- ・各教科(家庭科、社会科、道徳)の関連単元の授業で、参考資料等として活用
- ・総合的な学習の時間(校外学習、秋田県での働き方、男女共同参画ほか)で活用
- ・学級活動、読書の時間等で活用
- ・進路学習、職場体験学習、入試面接練習等と関連付けて活用

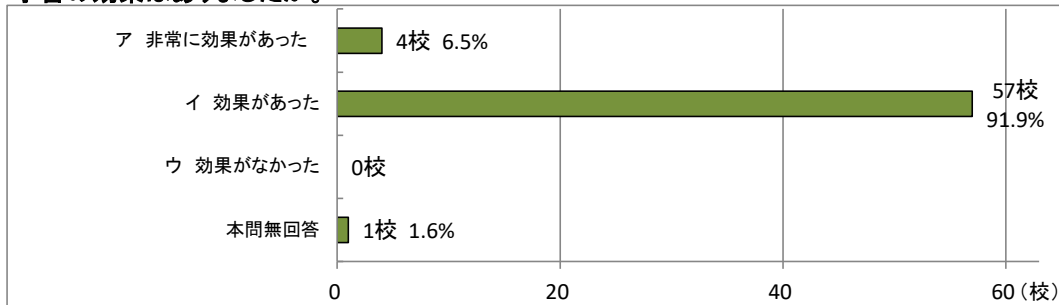
問6 生徒の反応はいかがでしたか。

※活用した62校中



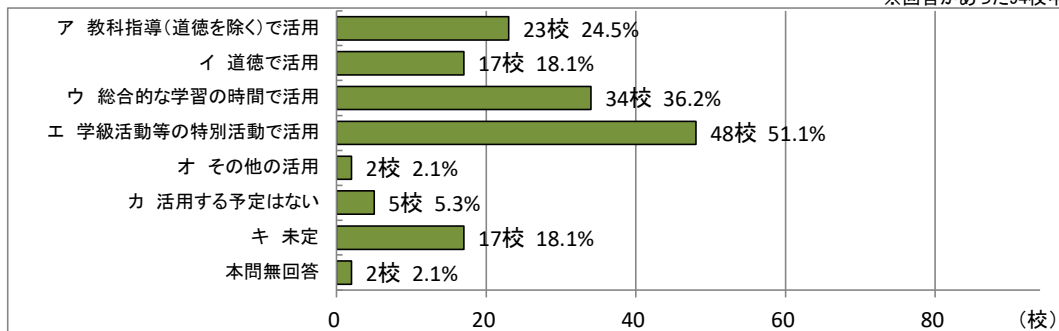
問7 学習の効果はありましたか。

※活用した62校中



問8 令和7年度は、副読本をどのように活用する予定(活用したい)ですか。(複数回答)

※回答があった94校中



活用方法「オ その他の活用」の主な回答
・夏休みの課題

問9 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問9 副読本の内容等についての感想、意見等(中学校・R6)」を参照

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（中学校・R6）

主に副読本の内容や形態に関する感想、意見等
【参考】に具体的な教材や活用例が示されていると、より活用しやすくなるかもしれません。
統計資料等、データーを活用して、秋田県の実情を知ることができるので、参考になりました。
自分自身を見つめ、進路について考えることのできる一貫性のある副読本となっているため、3年間を通して活用できる副読本となっていると感じました。
秋田県版ということで非常に身近に感じることのできる内容が盛りだくさんであるほか、社会科や道徳科と教科の学習にも生かせる副読本である。先生方が共通理解し、さらによりよい活用法を模索していきたい。
いろいろなことが盛り込まれた副読本なので、活用の実践例を紹介してほしい。
・自分が住んでいる秋田県のことについて非常に興味をもって活用することができた。 ・秋田県の良さと抱える課題について分かりやすく記載されていた。 ・キャリア教育と併せて活用することができた。書き込めるワークがもっとあるとよかった。
・秋田県の人口推移や、特色ある取り組みについてわかりやすく提示されている。分量的にも活用しやすい。 ・ワークシートがデーターで入手できるのもありがたい。（Word、Excelで準備されているので、各学校での学習活動と合わせて加工できる）
資料が豊富で、様々な場面での活用が可能であると思います。
・様々なデーターの変容が分かりやすい。 ・図や表が盛り込まれ、生徒の見やすい様式となっている。 ・社会、特別活動、道徳等における副教材として活用していきたい。
よい資料だと思います。有効に活用したいと考えています。
内容を精査して、授業で活用できる範囲で活用していきます。
大変読みやすい副読本であると感じている。読み物としても、十分に活用できると感じた。もう少し計画的に活用していくことができればよいと思ったので、来年度以降検討していきたい。
・ワークシートを書くとき、自分たちの未来について希望をもっている生徒もいれば、じっくり悩んで書いている生徒もいた。 ・秋田の魅力について改めて触れることができ、ふるさとのよさを新しく知ることに興味を示していた。自分が住む地域については総合的な学習で学ぶが、今後機会があれば秋田の他の地域のことも知ってほしいし、生徒のふるさと秋田への興味を更に深めさせていきたい。
主に副読本の活用や配付に関する感想、意見等
秋田の未来について考える学習では、秋田が抱える課題の克服に向けて、自分の視点をもって調べる際に、活用させていただいています。
・第1章 ふるさと秋田を知ろう 総合的な学習の時間 ・第2章 自分らしく生きていこう 学級活動・道徳 ・第3章 自分の未来を考えよう 学級活動・道徳 例えば、上記のような活用の仕方が想定されます。学習を進める上で、大変参考になる副読本だと思います。
授業時数が限られている中で、十分に活用することができなかった。内容等は特に問題はないと考える。
現在、文部科学省から示されている学習指導要領にもとづき、教科書を活用しながら、指導を行っております。社会科をはじめ各教科とも、指導内容や学習計画がすでに決められており、限られた時間の中でその内容を確実に終えることに苦慮している状況です。また、教職員の多忙化が課題として上げられている現状では、現行の学習計画に追加しての学習を一斉展開及び活用のリサーチを行うことは難しい状況です。いただいた資料の活用については生徒への配付のみの活用とさせていただいておりますので、ご理解くださいますよう、お願いいたします。
副読本全般を部分的にでも活用できることがわかったので、これから活用の幅が広がっていくことが期待できる。校内でもっと先生方に周知していきたい。
・4月に全校生徒に配付するが、他の教科書と類似する内容が多く、あえてこの冊子を利用する利点がない。 ・第1章の内容は生徒も感心を示すが、読み物資料として目を通す程度の活用であった。
教科指導での活用を模索したがどの教科で行うか検討中である。
技術・家庭科の学習時間だけでなく、各教科で活用できる場面を見定めて、生徒の実態に応じて効果的に活用していきたいと思います。
それぞれの趣旨や目的は異なりますが、様々な内容の副読本や啓発パンフレットが、所管する部署から学校に送付されてきます。関連した内容の学習をする場面があっても、すでにその担当が作成していたものを使ったり、購入した副教材に類似した資料があったりします。また、自分たちで調べる活動も大事なプロセスであることも多いため、送付されてくる副読本やパンフレットを利活用する機会は非常に少ないです。 費用対効果の面からも、一方的に送付するのではなく、要望を聞いてから必要な学校に送付したり、必要なときにダウンロードできるようにしたりしてもらえるとありがたいです。

問 9 副読本の内容等についての感想、意見等（中学校・R6）

（続き）主に副読本の活用や配付に関する感想、意見等
主に特別活動（学活）と総合的な学習の時間で活用させていただいております。
授業をする教員自身が必要に応じて資料の活用していくという形で、今後もこの副読本を使用していきます。
・授業で活用することだけではなく、必要なときに生徒が自由に見れる、読める資料という考え方で生徒に預けることを考えたい。例えば、読書の時間や休み時間に手にとってみるということも考えられる。 ・副読本の活用については、指導者の意識が必要である。現在は、インターネット等を使って自由に検索できること、視聴できるものが多いので、どうしてもICTを活用することが多くなっている。 ・資料をダウンロードして活用する手間があり、うまく活用できない状況が見られる。 ・内容が良いので、実際の授業とリンクさせることができるよう検討していきたい。
ワークシートとセットになっていてありがたい。ダウンロードして使用できるので、ねらいにあった資料提示ができるのでありがたい。
内容をダウンロードして使用できるところが、便利だと感じました。
冊子で送っていただいておりますが、経費のこともありますので、データのための送付でよいと思います。